

Guadalupe Mountains

National Park
National Park Service
U.S. Department of the Interior

日本語

Japanese

グアダルベ山脈国立公園

グアダルベ山脈国立公園には西部の険しくそして孤立した野生が活きついています。テキサスの空に向かって堂々と高く聳え立つ山々の姿とその変化に富む地形は人々の心を奪います。

グアダルベ山脈は世界でも代表的な古代海底暗礁の一つです。世界中の地質学者がこの25億年前(二疊紀)に出来た自然の驚異的な産物を観察しに来ます。25億年前、数えきれない程の海の生物達がテキサスとニューメキシコを覆っていました。何百万年もの間に石灰質の海綿や海藻などその他多量の石灰を分泌する生物達が海底に降り積もりこの400マイル(644km)に及ぶ馬蹄型のキャピタン暗礁(Capitan Reef)が形成されました。後に海水が蒸発し、暗礁は沈下し、厚い沈殿物と無機質の層が暗礁を覆いました。その暗礁は後に山脈の形成と共に部分的に地上に姿を現すまで、何百万年もの間地下に埋もれていました。グアダルベ山脈はこのように太古に暗礁として形成され、今日ではテキサス砂漠のように聳え立っているのです。他の部分の暗礁はアパチ山脈とグラス山脈に見ることが出来ます。

グアダルベの人々

アパチ(apache)インディアン、西部開拓者、探検家、駅馬車の御者、合衆国軍隊、牧場経営者、そして自然保護家などいろいろな人々がグアダルベの歴史を彩っています。19世紀の中頃まで、この孤立した高地はマスカレロ(mescalero)アパチだけの狩猟と生活の場でしたが、後に探検家や開拓者達によってグアダルベ山脈の堂々と聳え立つ姿は重要な目印となり、又水場、休息の場として利用されました。しかし文化の違いからアパチはヨーロッパ人の侵入を好みませんでした。1849年合衆国軍はアパチに対する戦争を開始し、その戦いは後30年続くこととなりました。グアダルベはアパチにとって唯一の避難場所となり、又彼らの攻撃基地となりました。1880年までにアパチはグアダルベから追い出されることとなりました。

この戦いの中で、バターフィールドステージコーチ(Butterfield Stagecoach)が米国最初の大陸横断郵便ルートとして郵便物の輸送を開始しました。今日に残るバイナリー(Pinery)ステージコーチステーションはその名残です。

それからさらに月日は流れ、牧畜が始まり、1930年にその内の一つとしてマキトリックキャニオン(McKittrick Canyon)に優秀な石油地質学者、ウォレスブラットは荒々しく美しいグアダルベに魅せられ牧場を開きました。1959年にブラットが彼の土地を国立公園協会に寄付することにより、その土地は永遠に保護され、そして一般の人にも楽しまれることとなりました。それに加え、後にJ.C.ハンターからさらに土地を買い、1972年に国会がグアダルベ国立公園を創立しました。

砂漠

「サボテンの花が咲く・・・夏の風の見せる雷鳴と光の演出・・・コヨーテが間近で素早く動く・・・蜥蜴が暖かい朝日を浴びる。」

グアダルベ山脈の麓に生物に乏しいチワワン砂漠が横たわる。この砂漠のほんの一部だけが公園の一部として保護されているのですが、高地から見下ろすこの不毛な砂漠の光景が大部分を占めます。年間降水量は約10から20インチ(254から508mm)、夏には気温は32度以上になります。しかしながら一見して不毛に見えるこの砂漠、実は生物に満ちています。多くのチワワン砂漠の動植物は公園内で見ることが出来ます。リュウゼツラン(agave)、ウチワサボテン(prickly pear cactus)、ナナフシサボテン(walking-stick cholla)、ユッカ(yucca)、ソトー(sotol)などが多く繁殖しています。蜥蜴、蛇、カンガルーネズミ、コヨーテ、鹿なども多く見られます。全ての動植物がこの厳しい環境に順応して生きています。

襟巻蜥蜴(collard lizard)も涼しい朝方と夕方だけに行動することでこの厳しい砂漠の環境に順応しています。蛇や多くの哺乳類は夜行性であることでよく知られています。

渓谷

「泉に映る林・・・空に向かって聳える荒々しい岩の壁・・・林の隅で黙々と草を食べる鹿・・・風にかさかさとする紅葉」

驚くほどに多様な動植物がグアダルベの深く切り立った渓谷に生息しています。テキサスで一番美しい場所と呼ばれるマキトリックキャニオンには特に多様な生物が生息しています。砂漠と高地の間に位置することでマキトリックキャニオンでは砂漠、渓谷、と高地全ての動植物を見ることが出来ます。ウチワサボテン、リュウゼツラン、ヤナギ(willow)、シダ(fern)、テキサスマドローン(Texas madrone)、テキサスクルミ(Texas walnut)、ワニトショウ(aligator juniper)、アカマツ(ponderosa pine)などが渓谷で見られます。野生動物ではノウサギ、コヨーテ、ハリネズミ、ハイロキツネ、シカ、アメリカライオン、オオシカなどが生息しています。

これらの動植物は深い渓谷特有の穏やかな気候(直射日光と強風から守られている)に支えられて生きています。マキトリックキャニオンには公園内で唯一の年中潤れない小川が存在しています。その清らかな小川はハイイロオーク(grey oak)、ビロードトネリコ(velvet ash)、ビッグトゥースメープル(bigtooth maple)などの緑陰樹に縁どられています。鹿が水を飲む姿もよく見受けられます。10月から11月の始め頃には木々の葉が鮮やかな赤や黄に染まり、その光景はまるで北部の森林の様です。マキトリックキャニオンはこの地域では珍しい、豊かさを持っています。

毎年紅葉がマキトリックキャニオンを彩ります。カエデ、トネリコ、オーク、チョーク、チェリーなどが谷間の陰の湿潤な場所に繁殖しています。

マキトリックキャニオンの曲がりくねった渓谷を辿って行くくと砂漠から森林へと移行行く様を目の当たりにすることが出来ます。渓谷の入り口付近では砂漠の動植物が多く繁殖し、奥に進むにつれて渓谷は狭まり、岸壁はより高くなり湿潤帯へと変化していきます。湿潤帯では落葉樹と共に野草やシダも生息しています。さらに奥へ行くくと松と樺が現われます。渓谷の奥に生息する動植物は南西部森林地域に生息する生物種と一致します。

木々の内でも特に珍しく、そして奇抜なのがテキサスマドローンです。それは滑らかな赤褐色の樹皮と常緑の葉から容易に見分けることが出来ます。初春には星を散らばめた様に白い花が咲き、秋になると鮮やかな赤色のベリーの様な果実が実り、多くの鳥の食物となります。

高地

「山頂に孤立した松林・・・秋には雄オオシカの鳴き声・・・荒々しい800フィートの頂からの壮大な風景・・・密やかに獲物を求めて歩くアメリカライオン・・・」

アカマツ、南西ストロブマツ(southwestern white pine)、ダグラスモミ(douglas fir)、ヤマナラシ(aspen)の深い森がグアダルベの高地に見られます。この針葉樹林は15000年前テキサス州の気温が現在より低く、湿度の高かったときの名残です。気温の上昇によってその林は部分的にグアダルベのような南部の高地に残ることになりました。ポウル(グアダルベの高地に存在する2マイル[3.2km]に及ぶ窪地)には特に豊かな林が存在しています。そこにはオオシカ、シカ、アライグマ、シチメンチョウ、ハゲワシ、アメリカライオン、クマなどの野生動物が生息しています。

オオシカはグアダルベの高地一帯、渓谷、そして低山帯に広く分布しています。頭数はおよそ50から70程です。今日のオオシカの個体群は1920年代にワイオミング州とサウスダコタ州から移住されたものの子孫に当たるものです。源住の個体群は1900年頃に人間のこの地域への侵入によって絶滅しました。公園内のオオシカはアメリカライオンなどの天敵を除く全てから保護されています。

安全に楽しんでもらうためのヒント

この地域の気候は突然に変化します。時には時速60から80マイル(97から129km)に達する強風も山地では珍しくありません。春には特に顕著です。夏の終わりには雷を伴う嵐が発生するため落雷の危険性があります。嵐の発生するときは広場を避けて下さい。*ハイキングをするときは1人1日1ガロン(3.8リッター)の水を携行し、道を外れないで下さい。*崖を登るのは大変危険です。この地域の岩は大変脆れやすいために、崖登りの専門家にとっても危険と言われています。*全ての動植物、化石、その他天然記念物歴史的に重要な物は保護されています。危害を与えたり、持ち出したりすることは禁止されています。*ベットの登山道、高原への持ち込みは禁止されています。*サボテン、ガラガラヘビ、サソリ、サバクムカデに注意して下さい。

ハイキング

発見

公園内には延長80マイル(129km)の登山道があり、グアダルベの砂漠、渓谷、高原など多様な場所を歩いて回ることが出来ます。場所により乗馬も許可されています。

距離と難易度はコースによって大変異なります。短い自然観察道、半日、終日、又はさらに長いコースや、複数のコースを数日かけて周ってみるのも良いでしょう。高原へ通じる登山道は全て傾斜がきつく、所により高度差は3000フィート(900m)にも達します。渓谷や低山帯のコースはより容易です。多くの登山道はよく整備されていますが、中には単に石塚で示しただけの粗野な道もあります。そのため長く歩かれる場合は必ず地形図を携行して下さい。地形図とハイキングガイドはビジターセンターとドッグキャニオンレンジャーステーションで入手出来ます。登山中のキャンプは指定された場所に限定されています。バックカントリーパミットをビジターセンター又はドッグキャニオンレンジャーステーションで入手して下さい。調理はキャンピングストーブ(携行型のガス又はガソリンストーブ)でのみ許可されています。

みどころ

下記のみどころは特に人気のあるものだけです。他のみどころは公園レンジャーにお尋ね下さい。

マキトリックキャニオン

豊富な動植物と壮観な荒々しい地形、そして穏やかな日陰の小川で人気のある場所です。この渓谷は日中のみ開放されています。ハイキングコースは往復7マイル(11km)程のものから1マイル(1.6km)程のものまであります。詳細は下記を参照。

バイナリー

駅馬車の駅の跡。これは1800年代中頃に存在したバターフィールド郵便ルートの数々の駅の一つです。(徒歩 往復100ヤード[90m])

スミスとマンザニタスプリング

二つの泉の作り出したオアシスです。多くの野生動物がこれらの水源を頼りに生きています。近くには19世紀に建てられたフリーホーリランチがあります。(ハイキングコース1周2.3マイル[3.7km])

ウィリアムズランチ

グアダルベ山脈西側にひっそりとたたずむ昔の牧場地。(ハイキングコース往復18マイル[29km])。四輪駆動車専用道については下記参照。

ポウル

山地を囲う砂漠の2500フィート(750m)上にあるマツとダグラスモミの林。(ハイキングコース往復11マイル以上)

最高峰

8749フィート(2625m)のグアダルベピーク(テキサス州最高地点)や他の山頂に登ることのみかえりは何と云ってもその壮大な眺望です。(ハイキングコース、グアダルベピーク往復8.4マイル[14km]、他14マイル[23km]以下)

ビジターセンター

公園案内は二箇所のビジターセンターにて入手可能です。ビジターセンターには御手洗い、飲料水、パンフレット、本、ハイキングコースガイド、地図、展示物、スライドプログラムなどがあり、公園レンジャーが皆様の旅の御手伝いをしてあります。さらにレンジャーガイドハイキングやトークその他の行事の予定が分かります。バインズスプリングキャンプ場近くのビジターセンターは毎日開館しております。案内、御手洗い、飲料水はドッグキャニオンレンジャーステーションにもあります。詳細は下記住所まで。

Guadalupe Mountains National Park
HC60, Box400
Salt Flat, TX 79847-9400, U.S.A.
電話 (915) 828-3251

マキトリック キャンニオン

一番人気の高いマキトリック キャンニオンでは、溪谷でのハイキング、動植物観察やピクニックなどを楽しめます。秋には素晴らしい紅葉も楽しめます。ピクニックエリアはテーブルのみ完備、水場はありません。調理はキャンプストーブ（携行型ガス、又はガソリンストーブ）に限り使用を許可されています。溪谷は日中のみ開放。溪谷への車道はハイウェイ 62-180からの入口から每晚閉鎖。

キャンプ場

キャンプはバイン スプリングとドッグ キャンニオン キャンプ場にて、1年中、先着優先制です。両方ともテント専用とRV専用のキャンプ場があり、又水場、身体傷害者用御手洗いとテーブルを完備しています。調理はキャンプストーブ（携行型ガス 又はガソリンストーブ）に限り許可。キャンプ料金はバイン スプリングのみ必要。高原での徒歩キャンプは可能。上記「発見参照」。

4 車馬区 重力 車

7マイル（11 km）のウィリアムス 牧場への道は4輪駆動車に限り通行を許可。（上記「みどころ」参照）。この道の通行には入口ゲートへの鍵が必要です。鍵はビジター センターにて入手可能。

設備とサービス

公園内には宿泊施設、食料、ガソリンスタンドなど一切ありません。ハイウェイ62-180沿いでガソリンと限られた食品を入手できます。ホワイト シティとカールスバッド（ニューメキシコ州）、それぞれ公園から北東へ35マイル（56 km）と55マイル（89 km）にはモーター、キャンプ場、レストラン、売店とガソリンスタンドがあります。45マイル（72 km）西にあるデル シティ（テキサス州）にもレストラン、ガソリンスタンドと売店があります。パンホーン（テキサス州）州ハイウェイ54で75マイル（121 km）南、とエル パソ（テキサス州）、ハイウェイ62-180を西へ110マイル（177 km）の両市ではフル サービスを受けられます。

訳者後記

この度はグアダルペ山脈国立公園へようこそ。私としては皆様にこの大自然を紹介する機会を与えられたことに大変感謝しております。私は1994年、夏の3ヶ月間ここで働き、すっかりグアダルペに魅せられてしまいました。皆様もこの美しい大自然を良く御觀賞下さい。この日本語訳に関するコメント、誤りなどございましたら、下記まで御連絡頂けると幸いです。それでは良い御旅行を！！

1994年 6月25日 松岡 将夫

Masao Matsuoka